

学校評価（前年度評価と本年度の目標）

I 前年度評価（平成29年度の学校評価）

1 自己評価結果等

前年度の重点目標	<p>生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会や団体行動の指導を通して、社会における規律やマナーを重んじる生徒を育成する。特に、積極的に挨拶のできる生徒の育成を図る。 ・全校体制で、身だしなみ指導・遅刻指導、挨拶運動等に取り組み、生徒の基本的生活習慣の確立を図る。 ・適応指導や教育相談の充実にも努め、生徒一人一人の帰属意識や自己有用感を高めて、心身の健康の保持増進を図る。 <p>学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が一丸となって「授業規律の確立」と「魅力ある授業」を通じて、基礎学力の定着を図る。 ・主体的・協働的に学ぶ態度を育成し、授業や家庭学習を充実させ、進路実現に見合った学力を身につけさせる。 ・授業公開・相互授業参観を積極的に実施し、アクティブ・ラーニングの視点から授業方法の工夫改善に取り組み、教科指導力の向上を図る。 <p>キャリア教育と進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系統的計画的なキャリア教育を推進し、望ましい勤労観や職業観の育成を図る。 ・進学補習や自主学習体制を充実させ、生徒一人一人の夢の実現に向け、一層の進学指導の充実を図る。（普通科） ・資格取得をより一層推進し、進学も視野に入れた多様な進路指導の充実を図る。（商業全科） ・進路目標の達成に向け、分掌・学年・教科が協働して生徒の学力向上の方策を講じる。 <p>生徒会活動及び部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に取り組む生徒会活動の展開を目指す。 ・部活動指導を通して、集団の規律や礼節を重んじる姿勢を築き、たくましく社会を生き抜く力を育む。 ・部活動の充実と学習時間の保証に努める。 <p>地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を密にし、地域から信頼され、地域に貢献し愛される学校づくりに努める。 ・地域との連携やボランティア活動を通して、生徒のコミュニケーション能力の向上、他を思いやる心を育む。 ・校内外の清掃活動等を通して、生徒が自ら学習環境を整備するとともに、地域に愛される学校づくりに取り組む姿勢を確立する。 <p>グローバル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土や国の伝統と文化を尊重するとともに、異なる文化や歴史を理解し共感できるグローバル人材を育成する。 <p>総合学科への改編準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の動向や生徒のニーズ等を踏まえた教育課程の編成等、学科改編に向けて準備を進める。 		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化と広報活動の充実 ・自らの身は自ら守る防災教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA諸行事への参加・協力依頼とWebページの充実を図る。 ・常に防災意識を持ち、行動に移す力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭でのバザー、献血、体育大会でのジュース提供など、おもにPTA役員会・理事会を通して協力依頼をし、多くの方に活動していただいた。保護者への周知のために、Webページの充実にも努めたい。 ・年2回の避難訓練とシェークアウト訓練を実施。2回目の避難訓練で生徒に消火器の使用体験をさせるとともに、職員の通報訓練を行った。今後は避難訓練をより実践的なものにしていきたい。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事の精選・見直し ・校務支援システムの確立と継承 ・総合学科改編の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程及び年間行事計画の見直しを行う。 ・成績処理システム・校務支援システム導入の準備を行う。 ・総合学科改編にともなう教育課程の編成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な実施時期を考え、学期ごとにバランスよく行事を配置した。教員、生徒に過剰な負担をかけないように、さらに精選・見直しを行う。 ・すでに導入している学校へ訪問し、導入準備を行う予定であったが、実現できなかった。導入するためには、教務部の業務内容を精選し、専任担当者を確保する必要がある。 ・各教科主任との意見交換を行いながら行う。現在の知立高校のよいところを引き継ぎ、特色が出せる教育課程を目指す。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・全校体制による身だしなみ指導、遅刻指導、挨拶運動の取組 ・地域に愛され、信頼される学校づくり ・いじめの未然防止に係る取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・校門指導の活性化とさらなる充実で遅刻数減少を図る。 ・様々な機会をとらえ、心の教育の実践を行う。 ・全校集会や学級活動において、いじめ防止をテーマとする活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年は、生徒会有志による挨拶運動が実施されるなど充実した校門指導ができた。遅刻数も非常に少ない状態を維持できた。 ・全校集会における「人権講話」また、生徒有志による人権擁護街頭啓発活動等の活動を通して、人権意識の向上を図った。 ・いじめアンケートや生徒面談により、いじめの早期発見・早期対応を図った成果もあり、落ち着いた雰囲気の中で学習活動に取り組めた。
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> ・他人を尊重する態度の育成 ・生徒主体の行事促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動を通して技術、マナーの向上、安全に協力し合う集団を作る。 ・執行部を中心に、生徒の主体的な取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県大会に出場する部活動が増えるなど、各部活動の取組が非常に活発になってきている。また、学校行事にも協力的で準備、運営等を積極的に行うことができた。 ・各種行事に責任を持って取り組むことができた。特に学校祭では執行部、3年生リーダーを中心に主体的な活動ができ、様々な工夫を凝らしこれまでとは一味違うものとなった。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な進路意識を基盤にした学習習慣の確立 ・より高い目標を持たせた進路指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・補習・学習会を充実する。 ・商業情報処理科の進路指導を充実する。 ・社会生活に資する身だしなみとマナーの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、教科と連携し、1、2年生では基礎学力の定着を3年生では進路希望に応じた入試対策を補習・学習会で実施することができた。 ・学年と連携し、1、2年生に対して進路が決定した3年生が就職、進学の体験談を伝える等、低学年からの進路意識向上を図った。 ・職場見学や証明写真撮影の際に身だしなみの再確認を実施し、また日常生活の中で折に触れて社会人としての意識を身につけるよう指導した。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保健部	<ul style="list-style-type: none"> 自発的な学習生活環境の整備 生徒の心身の健康維持 相談活動における各種機関との連携 生徒に関する情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動、エコキャップ運動、花いっぱい運動、紙資源の回収を展開する。 健康診断の事後指導の充実を図る。 特別支援教育と教育相談を充実する。 保護者やSC、外部機関との連携に工夫する。 教育相談部会や教育相談委員会の充実を図る。 保健室との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動については、日頃の清掃活動を中心に、各学期に設定された汚れ落としやワックス掛け、美化常任委員による清掃など、充実した活動ができた。 花壇づくりについては、PTAの役員さんに行っていたが、もう少し花をたくさん準備すべきであった。 清掃道具等の補充や新しい清掃ロッカーの準備などが課題である。 健康診断の事後指導については適切にできた。 保健部会においても相談部と情報交換を密に行い、常に最新情報を共有するように心掛けたので早めの対応が出来た。また、生徒・保護者に対してSCの案内がスムーズに出来たことが充実した活動に結びついていると感じる。 年度途中より日々の健康観察を充実させることを検討した。本年度は試行段階であるが、クラス担任と連携を取りながら来年度に向け、より充実したものにしたい。
図書部	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の多機能化、快適な読書空間の構築 生徒図書委員会の活性化 視聴覚機材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 新刊本の充実と企画展を開催する。 広報活動の活性化を図る。 視聴覚機材の充実及び管理の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公立図書館や書店の人気ランキングを参考に、新刊本を厳選した。 図書館が快適な読書空間になるよう、利用マナーの向上に努めた。 本年度は図書常任委員の役割分担をより明確にした。結果、昨年より意欲的に役割を果たす者が増えた。 昨年より視聴覚機材の利用が増えた。丁寧な扱いを呼びかけ、破損を最小限にとどめた。
総合ビジネス科	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの基礎・基本能力の定着と活用 地域との連携及び、積極的な校外の学びの場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 夏期・冬期休業中の学習会で学習の定着を図る。 インターンシップ先を増やす。 外部講師を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、2年生の商業(総ビ)・情報処理科のどちらとも学習会を行うことができた。学習の定着のため来年も継続していきたい。 インターンシップ先を増やすことはできなかった。しかし、2年生の校外学習(11月実施)では大学と企業を見学した。見学した企業は実際に本校へ求人のある企業であるため、就職するということがどんなものかを生徒にイメージさせることができた。 外部講師の活用は3年生商業科のみであったため、来年度は3年生情報処理科、2年生(総ビ・情報処理科)でも実施していきたい。
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立と集団生活における規律の遵守 思いやりと自主性の育成 予習復習など家庭学習を基盤にした学習習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行と、品位ある身だしなみを自らできるように指導する。 様々な活動への生徒の自主的な協力を求め、思いやりの心を育てる。 学習方法の指導、効果的な課題、STなどでの小テストを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ、基本的な生活については乱れることなくほとんどの生徒が守ることができた。入学当初の元気の良い挨拶がやや薄れてきた感じがするので、新年度には新たな気持ちで取り組んでいきたい。 キャリア教育の一環として行った福祉実践教室を通じて、高齢者や障害者の立場になって学ぶ良い機会を得た。また修学旅行の事前学習を通じて、それぞれがテーマを決め協力して発表をする体験ができた。 総合ビジネス・情報処理科については予習・復習・課題の提出といった基本的な学習への取組は良好だった。普通科については、授業、補習、課題、STテストなどを通じて学力を高めてきた。7月、11月、1月に行われた模試では、少しずつ前回は上回る成果が出た。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識の向上 学力のさらなる向上 進路意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 出欠状況の改善を図り、年間の総欠席数を300以下、総遅刻数を80以下にする。 家庭学習時間を充実する。 進学指導を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席数827(長欠者含む)、遅刻数145であった。不注意遅刻は減少傾向にあるが、メンタル面の不調による欠席・遅刻が目立った。規律正しい生活を促すとともに、安全で安心な環境づくりを推進する。 学習記録、学習時間調査の実施等により、家庭学習への意識向上を図った。平日の学習時間を2時間弱から増やす工夫を引き続きしていきたい。 商業・情報処理科では科別集会、普通科ではキャリアデザインで進路ガイダンスや進路講話を行い、進路意識を高めることができた。3年生に向けて具体的な進路目標を決定させていきたい。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望の実現 最上級生としての模範的行動 	<ul style="list-style-type: none"> 学科の特性に合わせた指導をする。 学習会、進学補習を充実する。 主体的かつ自律的に行動し、リーダーシップを発揮するように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商業・情報処理科と普通科のそれぞれの特性を考慮した指導が適切に行われ、生徒の進路実現において成果が見られた。 各教科とも、生徒の希望による複数の講座を設けるなど、充実した学習会・進学補習を実施し、生徒の学力向上において成果が見られた。 室長会を実施し、情報交換や各種行事の企画・運営を行った。また、挨拶、授業と放課の区別、清掃美化活動なども生徒同士が協力しあい学校生活を充実させることができた。
総合評価	概ね目標が達成できているが、より効率を考えた部活動運営、心身を育む健康教育に、さらに取り組みたい。		

2 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 規範意識の向上 学習指導の充実 進路指導の充実 キャリア教育の充実 人間性の涵養 地域連携の推進
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導、キャリア教育が充実し、適切な進路指導が行われている。 素直で心優しい生徒が育っている。家庭や地域としっかり連携を強め、精神的に強い生徒、人として尊敬される生徒に育てることも図っていきたい。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> 校内外で教職員が率先して挨拶を励行し、生徒の自覚ある行動を促す。
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見や要望)	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科のビジョンについて早く知りたい。魅力ある学校になることを望む。 地元の中小企業に目を向けさせてほしい。有為な人材として大切にもらえる。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> 構成：地元経済界代表、地域代表、地元中学校長、PTA役員 評価時期：平成30年3月7日

II 本年度の目標（平成30年度の学校評価）

本年度の重点目標	<p>ア 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会や団体行動の指導を通して、社会における規律やマナーを重んじる生徒を育成する。特に、積極的に挨拶のできる生徒の育成を図る。 ・全校体制で、身だしなみ指導・遅刻指導、挨拶運動等に取り組み、生徒の基本的な生活習慣の確立を図る。 ・適応指導や教育相談の充実を努め、生徒一人一人の帰属意識や自己有用感を高めて、心身の健康の保持増進を図る。 <p>イ 学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が一丸となって「授業規律の確立」と「魅力ある授業」を通じて、基礎学力の定着を図る。 ・主体的・協働的に学ぶ態度を育成し、授業や家庭学習を充実させ、進路実現に見合った学力を身につけさせる。 ・授業公開・相互授業参観を積極的に実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて指導方法の工夫改善に取り組み、教科指導力の向上を図る。 <p>ウ キャリア教育と進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系統的計画的なキャリア教育を推進し、望ましい勤労観や職業観の育成を図る。 ・進学補習や自主学習体制を充実させ、生徒一人一人の夢の実現に向け、一層の進学指導の充実を図る。（普通科） ・資格取得をより一層推進し、進学も視野に入れた多様な進路指導の充実を図る。（商業科） ・進路目標の達成に向け、分掌・学年・教科が協働して生徒の学力向上の方策を講じる。 <p>エ 生徒会活動及び部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に取り組む生徒会活動の展開を目指す。 ・部活動指導を通して、集団の規律や礼節を重んじる姿勢を築き、たくましく社会を生き抜く力を育む。 ・部活動の充実と学習時間の保証に努める。 <p>オ 地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から信頼され、地域に愛される学校づくりを目指して、広報活動等の取組を行うことにより、本校教育活動の理解促進を図る。 ・地域との連携やボランティア活動等を通して、コミュニケーション能力の向上、豊かな人間性、社会の一員としての自覚を育むとともに、地域に貢献し愛される学校づくりに取り組む姿勢を確立する。 <p>カ 総合学科への改編準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の動向や生徒のニーズ等を踏まえた教育課程の編成等、学科改編に向けて準備を進める。 <p>キ 教職員の多忙化解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分掌間の連携と円滑な人間関係により、教職員の健康維持に配慮した協働体制を構築し、ストレスの少ない明るく元氣な職場環境の形成に努める。 			
	項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
	総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化と広報活動の充実 ・自らの身は自ら守る防災教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA諸行事への参加・協力依頼とWebページの充実を図る。 ・常に防災意識を持ち、行動に移す力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会に保護者の来校を促すための企画を検討するとともに、迅速な学校情報発信を心がけ、家庭との信頼関係を築いていく。 ・「きずなネット」の効果的な活用を図るとともに、自然災害から身を守る方策を、家庭とともに考えさせる。 ・東南海地震を想定した防災教育を充実する。
	教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム「メソフィア」の導入準備 ・学力向上を目指し、主体的に学習に取り組む生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム来年度導入のため準備、試行を行う。 ・学習習慣の確立と授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行導入校への訪問、マニュアルの作成を行い今年度の生徒データを使用して試行を行う。 ・授業研究週間等を利用して教員間で連携し、授業改善を行う。 ・機会あるごとに学習の大切さを伝える。
	生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・全校体制による身だしなみ指導、遅刻指導、挨拶運動の取組 ・地域に愛され、信頼される学校づくり ・いじめの未然防止に係る取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・校門指導の活性化とさらなる充実で遅刻数減少を図る。 ・様々な機会をとらえ、心の教育の実践を行う。 ・全校集会や学級活動において、いじめ防止をテーマとする活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員の共通理解のもと、生徒の心に訴え、対話を中心とした、指導に心がける。 ・知立高校の生徒として誇りを持ち、自信をもって行動できる生徒を育成する。また、主体的にルールを守る規範意識の醸成に努めるため、予防・啓発指導に重点をおく。 ・生徒がいじめ問題について主体的に考え、自らが関わる問題と捉えられるようにする。
	生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> ・他人を尊重する態度の育成 ・生徒主体の行事促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動を通して技術、マナーの向上、安全に協力し合う集団を作る。 ・執行部を中心に、生徒の主体的な取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動場所の整理・整頓、挨拶の励行、常に品位ある身だしなみで活動できる態度を養成する。また、チームやグループなどの活動で協働することにより、他者理解や自他を尊重する心を育む。 ・各行事については事前・事後のアンケートなどで全校生徒の意見を広く集め、広報活動を通じてフィードバックに努める。各委員会の役割を明確にし、自発的でめりはりのある活動をさせる。
	進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な進路意識を基盤にした学習習慣の確立 ・より高い目標を持たせた進路指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・補習・学習会を充実する。 ・商業情報処理科の進路指導を充実する。 ・社会生活に資する身だしなみとマナーの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年団との連携のもと、進学補習の教材や、実施方法を吟味する。進学希望の生徒に受講を促し、学校生活の中に定着させる。 ・与える進路情報を吟味精選し、担任団との意思疎通を図って生徒への進路指導をする。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な学習生活環境の整備 ・生徒の心身の健康維持 ・相談活動における各種機関との連携 ・生徒に関する情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動、エコキャップ運動、花いっぱい運動、紙資源の回収を展開する。 ・健康診断の事後指導の充実を図る。 ・特別支援教育と教育相談を充実する。 ・保護者やSC、外部機関との連携の在り方を考察する。 ・教育相談部会や教育相談委員会の充実を図る。 ・保健室との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員会を活性化させ、教員の適切な監督のもと、生徒自らが活動に積極的に取り組む体制を整える。 ・健康診断実施後の「受診のすすめ」の配布と、未受信者の家庭への再通知を行うとともに、担任による保護者懇談等を有効に活用し、受診率を向上させる。 ・教育相談部との連携を図りながら、スクールカウンセラーを活用し、教育相談体制の充実を図る。支援の必要な生徒の情報を教員間で共有し、特別支援教育の体制づくりを進める。 ・SCとの面談に関しては、その内容を関係者が周知し、該当生徒への対応の一貫性を図る。 ・教育相談部、相談室、スクールカウンセラー訪問の広報に努める。 ・教育相談委員会の内容を充実させ、問題を抱える生徒に迅速かつ適切に対応できるようにする。 ・保健室との連携を促進し、生徒情報の共有化を図る。
図書部	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の多機能化、快適な読書空間の構築 ・生徒図書委員会の活性化 ・視聴覚機材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊本の充実と企画展を開催する。 ・広報活動の活性化を図る。 ・視聴覚機材の充実及び管理の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のニーズを的確に汲みつつ、企画展の一層の工夫を図るとともに、図書館機能のさらなる充実を図る。 ・図書館だよりのさらなる充実により、来館者の拡大、図書貸し出し増を図る。 ・限られた施設や機材を有効に活用できるよう配慮する。また、視聴覚室の整備について検討する。
総合ビジネス科 商業科・情報処理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの基礎・基本能力の定着と活用 ・地域との連携及び、積極的な校外の学びの場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期・冬期休業中の学習会で学習の定着を図る。 ・外部講師を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習の振り返りをさせ、また授業で十分に理解できなかった生徒に対しては学習会を通して理解させる機会とする。 ・実務との関わりについて学び、ビジネスを学ぶ生徒としての誇りを持たせる。
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と集団生活における規律の遵守 ・思いやりと自主性の育成 ・予習復習など家庭学習を基盤にした学習習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行と、品位ある身だしなみを自らできるように指導する。 ・様々な活動への生徒の自主的な協力を求め、思いやりの心を育てる。 ・学習方法の指導、効果的な課題、小テストを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から明るく自然な挨拶の言葉が出るよう声をかけ、身だしなみ指導においてはその必要性を理解できるよう指導する。 ・自主的に協力する雰囲気作りを心がけ、協力してくれた生徒は全体の場で褒めて認める。 ・課題の完全提出指導や小テストの事前事後指導を充実させ、生徒が自主的に学習に取り組む意欲を引き出すよう粘り強く指導する。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・意識・行動の向上 ・学力のさらなる向上 ・進路意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談・集会・授業などを通し、生徒に自分たちが集団の中心的立場である意識付けをする。 ・辞書、参考書等を使って自ら学ぶ姿勢を育てる。 ・進学指導を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられるという受動的態度から自ら考え行動する態度を育て、部活動、学校行事、学習などに取り組ませる。 ・生徒が自ら学び考えて答えを導くよう、授業の内容、課題の出し方を工夫する。日々何をどれくらいするべきかを具体的に考えさせる。 ・生徒に進路を明確にさせ、3年生で達成する具体的な計画を立てさせる。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望の実現 ・最上級生としての模範的行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科の特性に合わせた指導をする。 ・学習会、進学補習を充実する。 ・主体的かつ自律的に行動し、リーダーシップを発揮するように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科の生徒の状況を判断しながら、学科別集会を通して、それぞれの学科に必要な指導を、最適な時期に行う。 ・入試問題研究などをしっかりと行い、計画的に進路指導にあたる。 ・身だしなみを整え、時間を守り、挨拶を励行するなど、下級生の模範となるように指導をする。 ・学校行事において、リーダー性を発揮するように指導する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立に努めている。 ・挨拶の励行やマナーを守る指導をしっかりと実施している。 ・服装や頭髪など身だしなみ指導をしっかりと行っている。 ・学力向上を目指した授業が展開されている。 ・進路実現のためにきめ細かい進路指導を実施している。 ・社会に通用する人間の育成を目指している。 ・地域に情報を発信すると共に地域と一体となり、学校運営に取り組んでいる。 ・いじめの防止に取り組んでいる ・勤務時間を管理し、健康障害の防止に取り組んでいる。 	

